



2022年3月1日 発行
社会福祉法人 尚徳福祉会
保育園与那原ベアーズⅡ

3月のねらい

○進級することに期待を持つ。

- ・進級することに期待を持ち2階の部屋で遊んだり過ごしたりしていく。

○自分でできた喜びを感じながら身の周りの事を一人でしてみようとする。



渡れるかな??

「一本橋渡ろう渡ろう♪」と歌を歌いながら散歩の時は側溝を橋に見立てて渡っています。「落ちないように渡ろうね」と子どもたちに声をかけていましたが、「先生、落ちてるよ、サメに食べられるよ!」と子ども達から声をかけられるようになりました(笑)
室内では巧技台を使って一本橋を作っていました。巧技台を使うのは初めてのこぐま組。最初は落ちないように慎重に手を広げて渡ったりしていましたが、少しずつ慣れてくると「先生見て渡れたよ!」と自信満々に渡る姿を見せてくれます。



こぐまぐみびより～1年間の成長～

こぐま組になってあつというまに一年間が過ぎましたね。「〇〇ちゃん一緒に遊ぼう」「〇〇くんみてみて」と子どもたち同士で声をかけ一緒に遊ぶ姿が見られるようになってきました。友だちと遊ぶ楽しさを覚えたこぐま組では、涙を流している友だちがいたら「大丈夫?」と声をかけたり気にしたりすることもあります。ですがその反面「〇〇君はいいけど〇〇ちゃんはダメ!」と友だちを選んだりする姿も見られるようになってきています。その際は保育者が仲介し、声をかけていくようにしていきました。

保育者との言葉のやりとりを楽しむ姿も多く見られるようになり、保育者がちょっとふざけて絵本を反対向きに読んでいると「先生違うよ!」「そうじゃないよ!」とツッコミも入るようになってきました。ちょっとそれが楽しくなっていて何度もやっちゃんこぐま組担任です(笑)

お兄ちゃん、お姉ちゃんになってきたこぐま組さんは「先生手伝って」「先生やって」と4月頃は援助を求めていましたが、少しずつ「1番に着替えられたよ」「自分でやる」と保育者の援助を求める声は減っていき自分たちで着替えや身の周りの事をするようになってきました。子どもたちの成長は早く色々なことが出来るようになっていき、また自分の意思を言葉にして伝えられるようになっていきます。あと残り1か月ですがよろしくお祈りします。